

平成28年 NO. 2

コミュニティ・スクールだより

学校・家庭・地域の連携と保幼小中一貫教育

H28.9.1

(事務局：国見町教育委員会学校教育課 ☎585-2892)

第2回国見学園コミュニティ・スクール委員会報告

7月11日(月)国見小学校を会場に開催されました。授業参観の後、国見小学校から提案された「子どもの安全」に関して熟議(話し合い)を3班に分かれて行いました。

熟議のテーマは

「下校時の安全確保について」、「自転車乗車時のヘルメットの着用」です。

初めに国見小学校阿部校長先生から、子どもたちの実態として「バスを降りてから自宅まで一人で帰らなければならない子どもたちが全児童の1割近くいること。ヘルメットの所有率が約54%で高学年になると持っても着用しない子どもがいること」について報告がありました。

以下に、班ごとの意見や話題になったことをお知らせします。



国見小学校(ミーティングルーム)熟議の様子

【下校時の安全】

〈1班〉

- ① 110番の家の活用は学校の指導が大事である。家がまばらな所は、どこでも良いから逃げこんで助けを求めるようにさせたい。
- ② 人の目が子どもを守る。下校時は畑に出てもらう、買い物に出てもらう等戸外に出て子どもを見守っていただくようにしたい。
- ③ 地域と子どもが顔見知りになっていることが大事。運動会やあいさつ等コミュニケーションの機会をとりたい。
- ④ クマの出没、突然の荒天など、防災無線で知らせて欲しい。昔は夕方5時のチャイムもあったように思う。

〈2班〉

- ① クマズをつけさせることが必要なのではないか。
- ② 110番の家との連携。親子や通学班で訪問をして顔見知りになっておくことが大事なのではないか。
- ③ 地域と保護者、各種団体が連携を図っていくことが必要だ。

〈3班〉

- ① 通学路を実際に親が歩いてみる。歩いてみせることが大事だ。
- ② スクールバスの安全な利用は町全体で見守りたい。
- ③ 110番の家を中心に地域全体で安全確保に関わることを求められる。

【ヘルメット着用】

〈1班〉

- ① ヘルメット着用は幼稚園や低学年、小さいうちから義務として習慣化づけることが望ましい。
- ② 学校では安全な自転車乗りなどを指導するが、自転車運転の技能は保護者がしっかりと教えることが大事である。ふらふらした乗り方では安全に運転できる状態ではない。
- ③ ヘルメットを買うのは保護者の責任である。品質も大事なので保険もつけたしっかりした製品を購入するようにさせたい。

〈2班〉

- ① 小さい頃からヘルメットを着用させることが必要だ。
- ② 自転車点検表の項目にヘルメット着用の項目を付け加えるようにする。
- ③ 小1（下学年）、小4（上学年）、中1（中学生）になる時がヘルメット購入を勧めたい時期である。
- ④ 保護者への啓発が必要である。

〈3班〉

- ① 家庭で責任を持ってしっかりとかぶらせることである。

以上です。

なお、今後の具体的な対応については、学校・PTAで話題にするとともに、全体として取り組む具体的な内容を話し合っていく予定です。

子どもたちの安全な生活の保障は、何よりも優先しなければならない課題です。各学校、保護者、地域がそれぞれに危機意識を持ち、実践事項を明確にしなければならないと考えます。

お忙しいところ出席していただきましたコミュニティ・スクール委員の皆様には感謝申し上げます。

第3回コミュニティ・スクール委員会開催について

期日：平成28年10月18日（火）

会場：県北中学校

授業参観の後、意見交換（熟議）を行います。詳細につきましては、改めて関係の皆様へ文書でお知らせをします。また国見町のポータルサイトにて広報しますので、よろしくお願いいたします。

学校支援ボランティアを随時募集しています！

保育所・幼稚園・小学校・中学校の子どもたちのために、学習、保育、安全、環境整備などを応援して下さるボランティアを募っています。

【お問合せ先】

国見町学校支援地域本部地域コーディネーター 担当 中野由起子

電話 585-2676（観月台文化センター）

※不在の場合は、学校教育課 585-2892 へお願いします。